

JACET中国・四国支部 Newsletter

第8号

目次

- | | | |
|---------------------------------|--------------|--------|
| ● 巻頭言 | 支部長 松岡 博信 | pp.1-2 |
| ● 2011年度支部ブロック研究会報告 | | |
| 第1ブロック (広島・山口・島根) | 堀部 秀雄 | p.2 |
| 第2・3ブロック (岡山・鳥取・愛媛・高知・香川・徳島) | 鳥越 秀知 | pp.3-4 |
| ● 支部研究会 OPP 便り—第3回イベントの報告 | | |
| | OPP 代表 岩井 千秋 | pp.4-5 |
| ● 2012年度事業計画 | 事務局長 平本 哲嗣 | p.5 |
| ● 2012年度支部大会および支部研究会お知らせと発表応募要領 | | pp.5-6 |
| ● 『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集要項 | | pp.6-7 |
| ● 事務局だより | 事務局長 平本 哲嗣 | pp.7-8 |
| ● 編集後記 | | p.8 |

巻頭言

中国・四国支部長 松岡 博信

JACET 中国・四国支部会員の皆様。

明けましておめでとうございます。本年もどうかよろしく願いいたします。

昨年は東北地方が大地震とともに千年に一度と言われる大津波に見舞われ、一昨年9月に全国大会が開催された仙台の宮城大学大和キャンパスもかなりの被害を受けたようです。当時は、半年後にあのような未曾有の災害が襲うとは当然ながら想像もできず、支部役員の方々と楽しい懇親の宴を呑気に催していたことを思い出します。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日で

も早い復旧を心より祈念しております。被災された方々への支援としてブロック研究会において支部会員の皆様から頂いた義援金は、12月17日に東京のJACET事務所で支部長会議が開かれた際に本部事務局に確かにお渡しいたしました。多くのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。各支部からの義援金は、赤十字を通して被災地に贈られることに決まりました。

さて、JACETはこれから3年ほどを目途に一般社団法人化を目指しており、現在大きな岐路に立っております。その過程で、予算を

出来るだけ切り詰め、理事や評議員としての役割を果たす社員の定数の削減などを実行していきます。一方で、学会としてより成熟すべく、これからの全国大会は国際大会が続きます。さらに、JACETは支部活動の活性化を視野に入れており、中国・四国支部においても研究企画員を来年度から新たに務めていただく方々が大量にいらっしゃいます。また、来年度からは初夏の支部大会を支部研究大会と呼称を変え、秋の3つのブロック研究会を廃止して支部研究会として統合し、より発展的

に充実させる計画です。おかげさまで、多くの先生方のご協力を得て、支部の紀要とイベントの Oral Presentation and Performance (OPP) もますます充実したものになっております。支部運営については、まだまだ未熟な点が多々あり、これからもご迷惑をおかけすることが多いとは存じますが、支部役員はこれから一層団結して運営に携わる所存でございますので、今後とも支部に対するご支援、ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。
(安田女子大学)

2011 年度支部ブロック研究会報告

第1ブロック代表 堀部 秀雄

平成 23 年(2011)年度 JACET 中国・四国支部広島・山口・島根ブロック研究会が、10 月 1 日(土)午後に広島工業大学五日市キャンパス MM 教室で開催された。内容はすべて自由研究発表で、伊藤沙織氏(安田女子大学大学院)の「英語学習者動機づけのための授業方略」、奥田利栄子氏(広島大学、広島修道大学非常勤講師)の「評価基準についての学習者の理解度がピア評価の精度に与える影響」、堀部秀雄(広島工業大学)の「これを英語でどういうか? 一日本文学の翻訳を通しての一研究」の 3 件であった。

最初の研究発表は、「内発的動機づけ」の方が「外発的動機づけ」よりもより高い学習効果をもたらすという動機づけについての先行研究結果に基づいて、どのような要因が学習者の「内発的動機づけ」に影響を与えているかを、アンケート調査を通して調査し、英語学習動機づけのための授業方略のモデルを探るものであった。一つの結論として、リスニングやスピーキングなどの活動を多く取り入れ、学習者が多くの成功体験ができるような形態の授業を行うことが「内的動機づけ」の向上に結び付くのではなかという提案がなされた。

二番目の研究発表は、ピア評価を効果的な

教育ツールの一つと見なし、学習者の評価基準に対する理解度がピア評価の精度にどのように影響するかを考察するものであった。調査の結果、評価項目について教員による実演をまじえた説明を受けたグループの方が、説明だけを受けたグループよりも高い精度のピア評価ができるようになることが示され、評価基準に対する理解度を高めることの意義とピア評価の教育・学習ツールとしての有効性が確認された。

三番目の研究発表は、日本文化の英語での発信を重視するという立場から、「着物」や「寿司」あるいは「義理」や「甘え」などの、いわゆる日本的な事物・事象および概念が英語でどのように表現できるかを日本文学の翻訳を通して考察するものであった。また、言語と文化についての理解を深めるという観点から、このような考察を含む翻訳演習の大学の英語の授業における教育的意義が示唆された。

参加者は 10 数名と、かなり小規模の研究会となったが、会場校の不手際から、終了前に教室の照明が消えるというアクシデントにもかわからず、最後まで活発な質疑応答が行われた。

(広島工業大学)

第2ブロック代表 鳥越 秀知

2011年度の第2&3ブロック研究会について報告いたします。今回の研究会は、JACET 中国・四国支部授業学研究委員会との共催で、10月15日(土)に香川大学の幸町キャンパスで開かれました。参加者は14名で、いろいろな方に参加して頂きまして、ありがたく思っております。

今回のブロック研究会の開催につきまして、香川大学の岩中貴裕先生には、会場の手配、ビラの作成、発表者の呼びかけ等、さまざまな面で非常にご助力を頂きまして、感謝しております。

会場は香川大学幸町キャンパス北4号館411教室でした。まず、JACET 中国・四国支部支部長代理として事務局幹事の平本哲嗣先生(安田女子大学)にご挨拶を頂きました。続けて研究会実行委員長の鳥越秀知(香川高等専門学校)が挨拶をさせていただきました。続けて、休息をはさみながら、4件の研究発表と1つの特別講演が行われました。司会を担当してくださったのは松本広幸先生(愛媛大学)と岩中貴裕先生(香川大学)で、鳥越もお手伝いさせていただきました。

研究発表1では、小西廣司先生(松山大学)が「目標言語指向の枠組みに於ける教材設計」という題目で、発表されました。「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」(新学習指導要領における高等学校の外国語)という目標を達成するための英語教材に的を絞って、先生が過去に実践し成功したと思われる教材を扱って、適切な教材を利用する重要性について報告されました。

研究発表2では、小山尚史先生(岡山大学)が「ディクテーションの誤答分析による単語とチャンクのリストを使用した発話単語認知の向上についての研究」という題目で、発表されました。アメリカのABC放送のニュースを扱ったテキスト中のディクテーションの誤答を収集し分析し、2種類の英語

のリストを作成して提示し練習を行ない、リストを使用した練習による学習者の単語とチャンクの聞き取り、および絶対評価による英語コミュニケーション能力テストのリスニングのスコアへの影響を比較し分析した結果を報告されました。

研究発表3では、大西毅氏(広島国際大学大学院)、中村朋子先生(広島国際大学)、古川晃子先生(広島国際大学リメディアル学習支援室)の共同研究で、「擬似初心者のためのマルチメディア DAISY によるスキップフォールディング学習支援」という題目で、発表されました。視覚障害者や読み書きが困難な学習者に有用であることが知られているマルチメディア DAISY を使用し、効果的な学習支援の方法として、英語の苦手な大学生すなわち擬似初心者 (false beginners) を対象とし、スキップフォールディングの方法を提案され、内容理解に関して実験群と統制群との比較を報告されました。

研究発表4では、岩中貴裕先生(香川大学)が、「英語力と学習意欲の向上に貢献する教室活動 - 考慮すべき3つの心理的欲求 -」という題目で、発表されました。自己決定理論によれば、「自律性の欲求」「有能性の欲求」「関係性の欲求」が同時に満たされるような条件で人は意欲的になりパーソナリティが統合的に発達する。自己決定理論が想定する3つの心理的欲求を充足するように配慮した授業環境が、受講生の英語力と授業に対する態度に与える影響を明らかにすることを目的として、平成22年度の授業実践の内容について報告されました。

15時30分から、特別講演として、宮迫靖静先生(岡山県立操山高等学校教諭)が「英語学習における音読の役割」という題目で、講演されました。さまざまな観点から、その観点的な背景にも言及されて、英語学習における音読の役割、その重要性について約1時間あまり話されました。その

後質疑応答の時間となり、このテーマについて活発な議論が行われました。

最後に、JACET 中国・四国支部授業学研究委員会委員長の松本広幸先生(愛媛大学)に閉会のご挨拶を頂きました。

研究会の運営上不十分なところもあったかもしれませんが、皆様のおかげで、無事研究会を終了することができました。本当

にありがとうございました。なお、研究会終了後、高松駅近くのお店で、有志で小さな懇親会を開催いたしました。参加された先生方と楽しくお話をすることができまして、有意義なひと時を持つことができました。ありがとうございました。

(香川高専)

支部研究会 OPP 便り - 第3回イベントの報告

OPP 代表 岩井 千秋

本年度の支部研究会 Oral Presentation & Performance (OPP) の年次イベントを去る12月17日(土)に、広島市立大学講堂小ホール(第1回と同会場)で実施いたしました。支部会員の皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、これが第3回目のイベント開催となりました。エントリー数は、参加大学8校、参加指導教員数10名、学生パフォーマの皆さん81名(プラス教員2名)で、いずれも記録更新です。一般来場者を含めると、120名以上が会場を埋め尽くし、これまでで最も盛大な催しとなりました。ご参加いただいた先生方、学生さん、そしてご来場者の皆様に、この場をかりて、厚くお礼申し上げます。また、支部役員各位にも、このイベントを支部研究会活動として位置づけ、盛り上げていただいていますことに、心からお礼申し上げます。

各大学の発表内容を簡単にご紹介します。

開会の辞 堀部秀雄先生(広島工業大学)

① 安田女子短期大学(橘野実子先生)

1. Voice Overing for the Movie "Toy Story" and "Totoro"

2. Song "We Are" and "Sanpo"

② 松山東雲女子大学(佐伯三麻子先生)

"What Is Your Image of Japanese Onsen?: The Mystique of Dogo Spa"

③ 広島修道大学(貫名緑先生)

"Get inspired-Listen to the Experts - Interview with People who use English at

Work in Hiroshima"

④ 広島工業大学(三熊祥文先生)

1. Group Performance: "HIT-Chants 2011"

2. Toastmastering!: Demonstration of HIT-ESS Regular Meeting

⑤ 県立広島大学(吉本和弘先生)

"High School Musical"

⑥ 広島国際大学(三宅美鈴先生, 山中英理子先生)

1. Alice in Wonderland - "Reading a Picture Storybook: Alice in Wonderland"

2. "Rakugo-Drama: Terrifying Manju"

⑦ 広島市立大学(岩井千秋)

"Anti-war Songs in the World - With Our Best Wishes for Peace"

⑧ 海上保安大学校(末弘美樹先生)

"Annual Events and Dormitory Life in Japan Coast Guard Academy"

今年は初エントリーとして松山市東雲大学から佐伯先生に、海上保安大学校から末弘先生にご参加いただきました。また初回から参加の県立広島大学からは新たに吉本先生と一緒にいただきました。OPPの輪は今なお広がりをを見せています。

さて、このOPP研究会ですが、昨年の夏、西南学院大学でJACET 50周年記念大会が開催されたおりに、親睦を兼ねた「夜の研究会」を福岡市内で開催しました。これまでは発表イベントを開催することで精一杯でしたが、

イベントも会を重ね、今後はより本格的な研究会にしていくことで、話が盛り上がりました。英語プレゼンについては、日本人が苦手なコミュニケーション力、あるいはパフォーマンス力をつけるという実用的な目的は言うまでもなく、動機づけ、学習者方略、自律学習、意味重視の英語教育、プロジェクト中心の教育など、外国語教育のさまざまな学術テーマと密接に関わっていると考えられます。昨夏の余韻を宴の戯言に終わらせず、さらに

OPP を進化させていければ何よりです。多くの先生方とより大きな研究に発展させ、我が支部から全国の JACET 会員に研究成果を発信していきたいものです。

<OPP HP 情報>

http://chiaki.intl.hiroshima-cu.ac.jp/Bulletin/07OPP/OPP_index.htm (画像等についてはパスワードが必要です。ご希望の方は代表者までお問い合わせください。)

(広島市立大学)

2012 年度事業計画のお知らせと発表応募要領

事務局長 平本 哲嗣

10 月 1 日(土)に開催された支部役員会にて、2012 年度スケジュール(案)について話し合いが行われました。暫定的ではありますが、お知らせいたします。

支部研究大会

*日時：2012 年 6 月 9 日(土)

13:00～ 研究発表(予定)

18:00～ 懇親会(予定)

*場所：愛媛大学

*大会テーマ(未定)

支部総会

*日程：2012 年 6 月 9 日(土)

*場所：愛媛大学

支部研究会

*日程：2012 年 10 月 27 日(土)

*場所：安田女子大学

Oral Presentation & Performance

(OPP) 研究会

*日程：2012 年 12 月 15 日(土)

*場所：検討中

A) 応募情報

(英語での併記もお願い致します)

- a. 発表題目 (Title) : 日本語と英語
- b. 種別 (Style) : 自由研究発表, 実践報告, 事例研究など
- c. 氏名 (Name) :
- d. 研究領域 (Research Area) :
- e. 概要 (Abstract) : 目的, 背景, 仮説, 方法, 結論, 引用文献など日本語の場合は 600 字以内, 英語の場合は 250 words 以内とする。
- f. 所属 (Affiliation) :
- g. 使用機器 (Equipment needed) :
- h. 連絡先 (Contact Address) : メールアドレスなど
- i. 発表を希望する研究会
 1. 支部研究大会
 2. 支部研究会

B) 申込応募期間

支部大会

2012 年 4 月 25 日(水)～5 月 25 日(金)
午後 11 時 59 分まで

支部研究会

2012年9月15日(土)～10月15日(月)
午後11時59分まで

C) プログラムおよび発表スケジュール

など詳細は、

1. 支部研究大会は5月下旬
 2. 支部研究会は10月中旬
- にそれぞれ E-mail で通知いたします。

■中国・四国支部ホームページにも情報を掲載いたします。

<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp/>

■申込先

事務局幹事 平本哲嗣
hiramoto@yasuda-u.ac.jp

■中国・四国ホームページアドレスにも掲載いたします。

<http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~bld10/JACET/>

■申込先

事務局幹事 平本哲嗣
hiramoto@yasuda-u.ac.jp

『支部紀要』第10号

*2013年3月31日刊行(予定)

『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』

*2012年7月30日(第9号)発行(予定)

*2013年1月20日(第10号)発行(予定)

～『JACET中国四国支部研究紀要』投稿募集～

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく学術論文、実践研究報告、研究ノート、および書評の4つの分野の研究結果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

■投稿原稿締め切り：10月末

■審査結果通知：12月末

■修正原稿締め切り：1月末

■刊行：3月末

送付先：紀要編集委員会委員長

堀部 秀雄 (広島工業大学)

E-mail: horibe@cc.it-hiroshima.ac.jp

～事務局だより～

★新入会員紹介★

2011 年度の新入会員をご紹介します。
(敬称略)(2012 年 1 月現在)

| | |
|-----------------|------------|
| 奥田利栄子 | 広島大学(非常勤) |
| 藤居真路 | 広島大学大学院生 |
| 杉村寛子 | 岡山県立大学 |
| Murray, Garold | 岡山大学 |
| Lauer, Joe | 広島大学 |
| 伊藤紗織 | 安田女子大学大学院生 |
| Runnels, Judith | 広島文教女子大学 |
| 長尾明子 | 香川大学 |
| 大西 毅 | 広島国際大学大学院生 |
| 山本五郎 | 広島大学 |
| 村上泰介 | 広島市立大学大学院生 |
| 水野康一 | 香川大学 |

どうぞ、よろしく願いいたします。

★2012 年度支部人事★

2012 年度の支部人事および本部運営委員
をお知らせ致します。支部活動発展のため
に力を尽くしますので、どうぞよろしくお
願いいたします。

| | |
|---------|--------------|
| 支部長(理事) | 松岡博信(安田女子大学) |
| 副支部長 | 岩井千秋(広島市立大学) |

社員

| | |
|-------|----------------|
| 筏津成一 | (鳥取大学) |
| 岩井千秋 | (広島市立大学) |
| 池野 修 | (愛媛大学) |
| 小山尚史 | (岡山大学) |
| 高橋俊章 | (山口大学) |
| 高垣俊之 | (尾道大学) |
| 瀧 由紀子 | (松山大学) |
| 田淵博文 | (就実大学・短期大学) |
| 鳥越秀知 | (香川高専) |
| 三宅美鈴 | (広島国際大学) |
| 堀部秀雄 | (広島工業大学)(補欠) |
| 西田 正 | (福山大学)(補欠) |
| 宮迫靖静 | (岡山県立操山高校)(補欠) |

| | |
|-------|--------------|
| 事務局幹事 | 平本哲嗣(安田女子大学) |
| 支部幹事 | 高橋俊章(山口大学) |
| | 三宅美鈴(広島国際大学) |

研究企画委員

| | |
|-----------|------------|
| 筏津成一 | (鳥取大学) |
| 池野 修 | (愛媛大学) |
| 小山尚史 | (岡山大学) |
| 角山照彦 | (広島国際大学) |
| 田淵博文 | (就実大学) |
| 高橋俊章 | (山口大学) |
| 高垣俊之 | (尾道大学) |
| 寺嶋健史 | (松山大学) |
| 鳥越秀知 | (香川高専) |
| 平本哲嗣 | (安田女子大学) |
| 堀部秀雄 | (広島工業大学) |
| 三宅美鈴 | (広島国際大学) |
| 西田 正 | (福山大学) |
| 山川健一 | (安田女子大学) |
| ローレンス・ダンテ | (就実大学) |
| 岩中貴裕 | (香川大学) |
| 松本広幸 | (愛媛大学) |
| 三熊祥文 | (広島工業大学) |
| 田辺尚子 | (安田女子大学) |
| 橘野実子 | (安田女子短期大学) |
| 田中博晃 | (広島国際大学) |
| 竹井光子 | (広島修道大学) |

支部会計

| | |
|------|----------|
| 山川健一 | (安田女子大学) |
|------|----------|

支部研究紀要編集委員会 (*は委員長)

| | |
|-------|----------|
| 堀部秀雄* | (広島工業大学) |
| 磯田貴道 | (広島大学) |
| 岩井千秋 | (広島市立大学) |
| 角山照彦 | (広島国際大学) |
| 高橋俊章 | (山口大学) |
| 平本哲嗣 | (安田女子大学) |
| 松岡博信 | (安田女子大学) |

★2011 年度本部運営委員★

総務委員会(支部代表幹事)
平本哲嗣(安田女子大学)
財務委員会(支部会計担当)
山川健一(安田女子大学)
全国大会 田中博晃(広島国際大学)
広報・通信 鳥越秀知(香川高専)

ネットワーク管理

松岡博信(安田女子大)
堀部秀雄(広島工業大学)
紀要 田淵博文(就実大学)
セミナー事業 堀部秀雄(広島工業大学)
国際交流 岩井千秋(広島市立大学)
研究会担当 篠津成一(鳥取大学)
JACET 賞

編集後記

あっという間に、1年の12分の1が過ぎてしまいました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。新年初の授業に向けてエンジンを温め直し、やっと本格的に稼働し始めたところではないでしょうか。

ところで、1月7日には七草粥を召し上がりましたか?1年の無病息災を願って食され、平安中期ごろに始まったとされているそうです。セリ(Java water dropwort), ナズナ(shepherd's purse), ゴギョウ(cudweed), ハコベラ(chickweed), 仏の座(henbit), スズナ(turnip), スズシロ(daikon or Japanese radish)ですが、一般家庭では、大根、人参、小松菜、ねぎ、ホーレン草、三つ葉、セリなどを代用しているようです。秋の七草は見て楽しみ、春の七草は食べて楽しむなんて、日本人は面白いことを考えましたね。

さて、胃腸も整ったところで、2月には豆まき用の大豆を年の数だけ。ちょっときつい・・・。

(MM)



興福寺の七草粥

JACET 中国・四国 Newsletter 第8号

2012年1月25日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 松岡 博信)

編集 : JACET 中国・四国支部 三宅 美鈴

発行所 : 〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36 広島国際大学 保健医療学部臨床工学科
三宅 美鈴

連絡先 : Tel:0823-70-4563 FAX:0823-70-4544 E-mail: m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp